

航空連合NEWS

発行：航空連合／発行人：坂元 慎平 〒144-0041 東京都大田区羽田空港1-6-5 第5綜合ビル5階 TEL (03) 5708-7161 FAX (03) 5708-7163

ダイヤ調整・運賃のあり方に関する論点を提示！ ～国内線ネットワークの維持に向けて踏み込んだ対応を検討！～

12月5日（金）、国土交通省において「第3回国内航空のあり方に関する有識者会議」が開催されました。

公正取引委員会より、路線ダイヤにおける会社間の調整について、あくまで個別事案ごとの判断としたうえで、路線の類型別に独占禁止法上、問題となりうるケースか否かなどに関する説明がおこなわれました。これをふまえて、航空局から航空法との関係で取りうる選択肢やさらなる整理の必要性、また運賃に関する情報発信のあり方などについて説明がおこなわれ、来年5月とされるとりまとめに向けて、引き続き各課題・論点について議論していくことが確認されました。



会議に臨む小林会長

課題	論点（国土交通省による検討の方向性）
利用者利便の向上 (ダイヤ調整)	<ul style="list-style-type: none"> 住民生活に必要な路線（類型1）は独占禁止法の適用除外規定を活用 住民の経済活動にとって重要な路線（類型2）における調整はさらに検討（より踏み込んだ調整には現行法令上の整理が必要） 多様な利用者・目的に利用される高需要路線（類型3）は、競争法に抵触しない範囲で航空会社が取り組む
競争環境のあり方	航空会社間の連携を含めた選択の自由度を高める
運賃	<ul style="list-style-type: none"> 航空法に基づく略奪的運賃（※1）の調査が航空機を運航する際の変動費（※2）を指標としていることをわかりやすく発信する 事業環境を踏まえて変動費の他に考慮すべき費目を検討する 利用者にとってわかりやすい情報公開の仕組みを検討する

※1 略奪的運賃：競合路線において他の競争事業者を市場から排除することを目的とする低廉な運賃

※2 燃油費・燃料税・空港使用料・機内サービス費・空港業務委託費・代理店手数料